

国公立医科大学長
国公立大学医学部長 殿
各関係機関の長

山形大学大学院医学系研究科長
上野 義之
(公印省略)

内科学第三講座血液・細胞治療内科学分野担当教授候補者の推薦について (依頼)

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本研究科では、内科学第三講座血液・細胞治療内科学分野担当教授の退職に伴う後任の教授候補者を公募しておりましたが、公募期間を延長することとなりました。

内科学第三講座は、血液・細胞治療内科学分野、神経学分野、糖尿病・内分泌代謝学分野から構成される大講座制をとっており、3分野で協調しての運営が求められています。本講座には、公募している血液・細胞治療内科学分野教授1名と、神経学分野に1名(太田康之教授)、計2名の教授が配置されています。両教授は、連携して、内科学第三講座の診療、研究、教育にあたっていただく責務があります。また、両教授の教授会参加資格・投票権は、他講座の教授と同等です。

なお、本研究科の内科学には、同講座の他に、内科学第一(循環・呼吸・腎臓内科学)、内科学第二(消化器内科学・臨床腫瘍学)の各講座があります。

つきましては、貴機関又は関係機関に臨床血液学の分野に造詣の深い適任の方がおられましたら、下記によりご推薦くださいますようお願い申し上げます。

候補者の方には選考の過程で御来学の上、面談及び御講演いただく場合がありますので、あらかじめ御承知おき願います。

謹言

記

- 1 職種及び人員 教授 1人
- 2 所属 大学院医学系研究科医学専攻内科学第三講座 血液・細胞治療内科学分野
- 3 採用予定年月日 令和5年6月1日以降、可能な限り早い日
- 4 担当授業科目
学部担当科目：臓器疾患学(血液コース)、全身性疾患学(内科系(内科三))、臨床実習(第三内科)
大学院担当科目：血液病学Ⅰ、血液病学Ⅰ演習、血液病学Ⅰ実習、血液病学Ⅱ、血液病学Ⅱ演習、血液病学Ⅱ実習
- 5 応募資格：以下の全てに該当する者
 - (1) 医師免許所有者
 - (2) 大学または大学に準ずる機関において血液・細胞治療内科学の教育・研究経験をもち、博士の学位を有する者
 - (3) 血液・細胞治療内科学について広い知識と経験を有し、情熱を持って学部および大学院における教育および研究指導ができる者
- 6 待遇等
採用時にテニユア審査が行われ、可とされた場合は、採用時から直ちにテニユア取得となります。
採用時審査で不可となった場合は、テニユアトラックとして任期は5年間となり、3年目もしくは5年目に学内規程に基づくテニユア審査が行われ、可とされた場合にはテニユアが付与されます。
※本学のテニユアトラック制度については、下記をご参照ください。

<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/recruitment/20201105/>
<https://www2.id.yamagata-u.ac.jp/recruit/>

(1) 給与

国立大学法人山形大学年俸制（Ⅱ）適用職員給与規程による年俸制。
経験等を考慮し、基本年俸を決定します。

(2) 保険

文部科学省共済組合（健康保険・厚生年金），雇用保険，労災保険

7 試用期間 6か月

8 提出書類

以下の提出書類全てについて、紙媒体及び電子ファイル（電子ファイルの種類は以下に明記されたもの）を各1部提出お願いします。

- (1) 推薦書（A4判・縦型，様式任意，PDFファイル）
- (2) 履歴書（様式1，Wordファイル）
- (3) 業績目録（様式2，Excelファイル）
- (4) 公募による研究費受領・競争的外部資金獲得状況一覧（様式3，Excelファイル）
- (5) 臨床試験参加状況一覧（様式4，Excelファイル）
- (6) 診療・研究の概要と今後の展望
（A4判・縦型，2,400字以内，様式任意，PDFファイル）
- (7) 医学教育に対する取組みと抱負
（A4判・縦型，1,200字以内，様式任意，PDFファイル）
- (8) 主要論文別刷（20編以内，PDFファイル）

9 公募締切日 令和5年5月31日（水）必着

10 面接及びプレゼンテーション 日時はおってお知らせします。

11 書類提出先 〒990-9585
山形市飯田西二丁目2-2
山形大学大学院医学系研究科長宛
（封書には「内科学第三講座血液・細胞治療内科学分野教授
公募書類在中」と朱書のこと。）

12 問い合わせ先 山形大学飯田キャンパス事務部総務課人事・労務担当（人事）
TEL 023-628-5005
FAX 023-628-5019
メールアドレス yu-isojin@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

13 その他

山形大学では全学をあげた男女共同参画の推進と、ワークライフバランスの実現に取り組んでいます。本学には、小白川キャンパス保育所，医学部保育所・病児保育室など、各キャンパスに保育支援制度があり、子育て支援が充実しています。

また、ダイバーシティ研究環境実現のために、研究継続支援員制度，学会参加時の保育支援制度はじめ，女性研究者の活躍を支援する制度を整えています。詳細については，下記URLをご覧ください。

山形大学ダイバーシティ推進室 <http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/>

(様式1)

履 歴 書

(令和〇〇年〇〇月〇〇日現在)

ふりがな ○〇 ○〇 ○〇 ○〇
 氏 名： ○ ○ ○ ○ ○ ⊕ 昭和42年(1967) 〇月〇〇日生(〇〇歳) 性別
 (旧姓名：○ ○ ○ ○)

所属・職種： ○〇大学○学部○学第二講座・准教授
 〒〇〇〇-〇〇〇〇 ○〇市○町○丁目○〇-〇〇
 電話：〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇(直通) FAX：〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
 メール：〇〇〇〇@〇〇〇〇〇.〇〇.jp

現住所： 〒〇〇〇-〇〇〇〇 ○〇市○町○丁目○〇-〇〇-〇〇〇号室 本籍：○〇〇県
 電話：〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

学 歴： 昭和61年(1986) 3月 ○〇高等学校卒業
 平成4年(1992) 3月 ○〇大学医学部医学科卒業
 平成〇〇年(〇〇〇〇) 4月 ○〇大学大学院医学研究科医学専攻入学
 平成〇〇年(〇〇〇〇) 3月 同 上 修了

免 許 等： 平成4年(1992) 4月16日 医師免許(第〇〇〇〇〇〇号)
 平成〇年(〇〇〇〇) 〇〇月〇〇日 厚生省〇〇〇〇〇〇資格認定医(第〇〇〇〇号)
 平成〇年(〇〇〇〇) 〇月〇〇日 日本〇〇学会認定〇〇医(第〇〇〇〇号)
 平成〇年(〇〇〇〇) 〇〇月〇〇日 日本〇〇〇〇学会認定指導医(第〇〇〇〇号)
 学 位： 平成〇〇年(〇〇〇〇) 〇月〇〇日 医学博士(〇〇大学)，または博士(医学)(〇〇大学)

職 歴： 平成〇年(〇〇〇〇) 〇月〇〇日 国立〇〇病院医員(研修医)(外科)
 平成〇年(〇〇〇〇) 〇〇月〇〇日 同上 辞職
 平成〇年(〇〇〇〇) 〇月 〇日 ○〇大学医学部助手(〇〇学第二講座)
 平成〇年(〇〇〇〇) 〇〇月〇〇日 同上 辞職
 平成〇年(〇〇〇〇) 〇月 〇日 ○〇県立〇〇病院(〇〇部)
 平成〇年(〇〇〇〇) 〇月〇〇日 同上 辞職
 平成〇〇年(〇〇〇〇) 〇〇月 〇日 米国〇〇〇〇〇〇大学研究員(〇〇学)
 平成〇〇年(〇〇〇〇) 〇月〇〇日 帰国
 平成〇〇年(〇〇〇〇) 〇月 〇日 ○〇大学医学部附属病院助教(〇〇部)
 平成〇〇年(〇〇〇〇) 〇月 〇日 ○〇大学医学部講師(〇〇学第二講座)
 令和〇〇年(〇〇〇〇) 〇月 〇日 ○〇大学医学部准教授(〇〇学第二講座)
 現在に至る

所属学会等： 日本〇〇学会(評議員：平成〇年～現在)
 日本〇〇〇学会
 日本〇〇〇〇学会(評議員：平成〇年～現在)

社会貢献： ○〇病院への応援診療(平成〇年～現在)
 ○〇県〇〇〇審議会委員(平成〇年～令和元年)
 ○〇〇〇〇高校における講演「〇〇〇〇〇(演題)」(令和〇年〇月〇日)
 ※特筆すべき活動のみを記載してください。

賞 罰： なし

記載例

業績目録

氏 名:

【原著】

Table with 7 columns: 著者名, 論文タイトル, ジャーナル名 (巻・頁・年), 著者区分, 責任著者の有無, インパクトファクター, ランク. Contains 3 entries for original research.

【症例報告】

Table with 7 columns: 著者名, 論文タイトル, ジャーナル名 (巻・頁・年), 著者区分, 責任著者の有無, インパクトファクター, ランク. Contains 1 entry for case report.

【総説】

Table with 7 columns: 著者名, 論文タイトル, ジャーナル名 (巻・頁・年), 著者区分, 責任著者の有無, インパクトファクター, ランク. Contains 1 entry for review.

【国際学会のProceeding】

Table with 7 columns: 著者名, 論文タイトル, ジャーナル名 (巻・頁・年), 著者区分, 責任著者の有無, インパクトファクター, ランク. Contains 1 entry for international conference proceeding.

【著書】

Table with 5 columns: 執筆著者名, 執筆タイトル, 著書名 (頁・年), 編者名, 出版社. Contains 2 entries for books.

【学会発表】

Table with 3 columns: 発表者名, 発表タイトル, 発表学会名 (開催地・年). Contains 2 entries for conference presentations.

記入要領 (様式2)

- 1 原著, 症例報告, 総説, 国際学会のProceeding, 著書及び学会発表の順に, 各項目に分けて記載してください。
2 項目ごと英文を先, 和文を後とし, 年代の新しいものから順に記載してください。
3 具体的記載について
(1) 原著, 症例報告, 総説, 著書及び国際学会のProceedingについては, 原則として記載例にならってください。
(2) 学会発表については, 全国規模の国内学会 (地方会・支部会除く) での特別講演, 教育講演, シンポジウム等, 及び国際学会で筆頭者として発表したものに限り。

記載例

公募による研究費受領状況・競争的外部獲得状況一覧

(過去10年間)

氏 名:

年 度	種 目 (代表・分担の別)	研 究 課 題 名	金 額 (千円)
2020	文部科学省科学研究費補助金 (萌芽) (代)	△△△△に関する研究	
	〇〇生命厚生事業団助成金 (代)	▽▽▽▽に関する研究	
2017	文部省科学研究費補助金 (基盤B) (2017年度~2019年度) (分)	□□□□に関する研究	
	厚生省〇〇〇〇研究助成金 (2015年度~2017年度) (代)	〇〇〇〇に関する研究	
	〇〇〇〇記念医学振興財団助成金 (代)	◇◇◇◇に関する研究	

(様式3)

記載例

臨床試験等への参加状況

(過去10年間)

氏名:

期間(年度)	試験の名称(代表・分担責任の別)	実施主体	研究費提供組織	試験実施地域(国)
2022 から 7 年間	重症食物アレルギー児に対する経口免疫療法により中等量耐性獲得後の摂取方法に関するランダム化比較試験(分担)	日本アレルギー研究開発機構	国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)	国内
2021から10	山形コホート対象個人健康調査票での介入によるメタボリック症候群の予防・進行抑制効果の検証(代表)	山形大学医学部	山形大学	山形県内
2020~5年間	SNSを活用した中高年世代に対する運動指導方法の効果確認および運動行動習慣化に関する研究事業(代表)	山形大学医学部	(株)ITEC テクノロジー	国内
2017~5年間	未治療高腫瘍量濾胞性リンパ腫に対するベンダムスチン療法後の維持療法の省路ランダム化第III相試験(分担)	日本臨床腫瘍研究会(JCOSS)	厚労省	国内
2015~2020	Paediatric Hepatic International tumour trial (co-investigator)	Children's Oncology Society	Children's Oncology Society	欧州・日本・米国